

手話言語を獲得・習得する子どもの力 研究プロジェクト

～保護者の体験と思いに学ぶ～

企画主旨

乳幼児期手話言語獲得支援事業「こめっこ」は、今年度6月に5周年を迎えました。未就学児を対象とする“べびこめ”“こめっこ”の活動に加え、2020年度からは小学生を対象とする“もあこめ”が「手話言語を獲得・習得する子どもの力研究プロジェクト」(日本財団助成)の一環として実施されています。スタッフの熱意と工夫でコロナ禍を乗り越え、多くの子どもたちが潑刺とした姿で保護者と共に集う場を創造してきました。今回のシンポジウムでは、活動に参加していただいているご家族にこれまでの体験と思いを語っていただきます。I部では、研究の進捗報告とご家族からのメッセージを活動映像と共にお届けします。II部では、3組のご家族に話題提供をお願いし、手話言語の専門家を指定討論者に迎え、さらに研究プロジェクトのメンバーとこめっこスタッフも加わってディスカッションを展開します。

第I部

2022年12月26日(月)～2023年1月28日(土)12:00まで

事前に配信する動画視聴(オンデマンド配信)

- こめっこ研究の進捗報告
- こめっこ参加ご家族の声
-赤ちゃんから小学生まで-
- こめっこ紹介動画(再配信)



参加無料

手話通訳・字幕あり

申込方法

下記いずれかの方法
でお申込みください



- ・申込フォーム: QRコード
- ・申込フォーム: こめっこHPより
<https://www.comekko.com>
- ・FAX:
06-6748-0089
参加申込書(最終頁)にご記入の上、FAXにてお送りください
- ・E-mail:
symposium@comekko.org
氏名(ふりがな)、メールアドレス、TEL(FAX)番号、所属先、職種(あるいは立場)をご記入の上、お送りください

第II部

2023年1月28日(土)13:00～16:30

Zoomを使ったオンライン開催

- 話題提供 - 3家族それぞれの体験と思いを語る-
- パネルディスカッション
- ◆ 指定討論

「当事者」の視点から
「手話言語教育」の視点から

木村 晴美 氏
前川 和美 氏



木村 晴美 氏

国立障害者
リハビリテーション
センター学院
手話通訳学科教官



前川 和美 氏

関西学院大学
手話言語研究センター助教
関西デフ・リースクール
「しゅわっち」代表

申込締切

2023年1月21日(土)

プログラム

～ 保護者の体験と思いに学ぶ～

第Ⅰ部 事前配信

-オンデマンド-

- ◆ 主催者挨拶 オリエンテーション 物井 明子 (NPOこめっこ 代表理事)
- こめっこ研究の進捗報告
 - ・河崎 佳子 (神戸大学教授・NPOこめっこスーパーバイザー)
 - ・中尾 恵弥子 (NPOこめっこ副代表理事) ・久保沢 寛 (同常務理事) ・和田 夏実 (同研究員)
- こめっこ参加ご家族の声 ー赤ちゃんから小学生までー
- こめっこ紹介動画 (再配信) ・2021年度シンポジウム事前配信動画

第Ⅱ部 パネルディスカッション

★Zoomを使ったオンライン開催

2023年1月28日 (土) 13:00~16:30

12:30~13:00 参加者は指定のZoomに入室してください

13:00~16:30 話題提供・パネルディスカッション

*途中休憩を挟みます

コーディネーター：河崎 佳子・久保沢 寛

● 話題提供 ー3家族それぞれの体験と思いを語るー

- ① 小橋さんご家族
『こめっこと出会って』
- ② 中川さんご家族
『聞こえにくい子とパパ、
聞こえるママの言語獲得習得記録』
- ③ 奥田さんご家族
『人工内耳も手話も～こめっこと歩んだ3年間～』



● パネルディスカッション

◆ 指定討論

1. 「当事者」の視点から

木村 晴美 氏

国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科教官

2. 「手話言語教育」の視点から

前川 和美 氏

関西学院大学手話言語研究センター助教/ 関西デフ・ブリス쿨「しゅわっち」代表



パネリスト
阪本 浩一 氏

大阪公立大学大学院
耳鼻咽喉病態学
准教授



パネリスト
酒井 邦嘉 氏

東京大学大学院
総合文化研究科
教授



パネリスト
武居 渡 氏

金沢大学
人間社会研究域
学校教育系
教授

○ NPOこめっこから 物井 明子

研究プロジェクト

言語脳科学・学習能力（思考力）分野 代表 酒井 邦嘉

手話を第一言語として概念獲得する環境にある子どもを対象に、言語理解に基づく概念や自然法則を把握する力や、時間や空間の変化などを推論する力を調査することにより、手話で育つ子どもたちの評価法や教育環境の改善に繋げていきます。

就学前児や小学生を対象に、要素間の法則性や関係性の発見、数量感覚等の思考力を測る問題を作成し、言語を通してさらに複雑な概念を獲得し、そこから思考の深まりにつながっていくかについて、各個人の手話や日本語の獲得進度を指標として比較検討します。また、問題を解いている最中の脳活動をMRI装置で検出するため、大人と子ども（小学校高学年以上）を対象として、言語野を中心とした脳機能の定量的な解析を行う予定です。

学習能力（理解力）分野 代表 武居 渡・河崎 佳子

手話言語を獲得・習得して育つ子どもたちの理解力を明らかにするために、手話劇や手話モノログを題材にしたテストバッテリーを作成しています。

質問紙とインタビューを併用して実施し、記憶、知識、理解の発達的变化を評価します。

言語獲得分野 代表 武居 渡

こめっこに来ている子どもたちの手話言語力と日本語力を縦断的に評価し、その成長を追跡しています。

手話の文法力と語彙力を測るために「日本手話文法理解テスト」と「手話語彙流暢性検査」を、言語を使って他者と適切にやりとりする力を評価するために「質問応答関係検査」を、年に1回ずつ行っています。同時に、手話を獲得して育つ子どもたちの日本語力についても、文法力（J-COSS）や語彙力（絵画語彙発達検査）を用いて検証していきます。

心理発達（人格形成）分野 代表 河崎 佳子

（研究統括責任者）

こめっこが支援する子どもたちの心理発達を、情緒、認知、コミュニケーションなど複数のラインから捉える縦断的研究を、観察、インタビュー、検査によって行っています。

日本手話での実施を検討した上で、「津守・稲毛式乳幼児精神発達診断」（3歳までは半年に1回、以降は年1回）と「K式発達検査」（概ね2歳以上を対象に年1回）を行っています。昨年度から手がけた「心の理論」課題の日本手話劇版が完成し、4～5歳以上を対象に施行しています。来年度からは、小学生高学年を対象に性格検査等を織り込む予定です。

■ ご視聴・ご参加される方へ

【第 I 部】

- ・参加申込者には、動画視聴用のURL及びパスワードを事前に連絡いたします。
- ・事前に配信する動画は2022年12月26日（月）12:00～2023年1月28日（土）12:00までいつでも繰り返しご視聴いただけます。

【第 II 部】

- ・参加申込者にはZoomの招待メールを事前にお送りいたします。
前日までにメールが届かない場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。
(事前にZoomが利用可能か、ご自身でご確認いただくことをお勧めします)
- ・参加者は、1月28日(土) 12:30～13:00の間にZoom入室をお願いします。
- ・一般参加者（聴講者）の映像はオフ、音声はミュートの設定にさせていただきます。

※事前に配信する動画（オンデマンド配信）及びオンライン配信の録画、撮影、録音、ならびにそれらの再配布等をするを禁止いたします。

※お申込みの際、いただいた個人情報につきましては、個人情報保護関係法令等を遵守し、この催し以外の目的には使用いたしません。

■ シンポジウムに関するお問合せ先

NPOこめっこ（特定非営利活動法人 手話言語獲得習得支援研究機構）

担当：江浦・村上



E-mail : symposium@comekko.org

TEL : 06-6748-0084 FAX : 06-6748-0089



こめっこHP

参加申込書（FAX専用 送り状不要） FAX：06-6748-0089

申込締切日 2023年1月21日（土）まで 申込日 年 月 日

ふりがな			
氏名			
連絡先	E-mail :		
	FAX :	TEL :	
所属先		職種 あるいは 立場	

※お申し込み後、3～4日以内に受付完了メールをお送りいたします。（年末年始12/28～1/4除く）
完了メールが1週間経っても届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。